



「支え合い会議高島平」ニュース

独りじゃないよ つながり合って 安心

第2号 2020・9

発行・高島平助け合い支え合い地域づくり会議（高島平第2層協議体）
地域・高島平1～9丁目、新河岸1～3丁目、三園2丁目



「支え合い会議高島平」の会議は7月に再開

支え合い会議高島平では、2017年10月以来、毎月会議を重ねてきました。しかし、「コロナ自粛」により、2020年2月14日以降は休止し、7月14日の第35回会議から再開しています。

第35回会議では、自粛中の各々の活動報告と今後の活動について話し合い、ZOOM会議の導入を決め、今後は板橋区と板橋区社会福祉協議会のコロナ予防ガイドラインに沿って開くことにしました。

8月14日の第36回会議では、構成員の田畑文子・高島平おとしより相談センター所長から、コロナ自粛下での相談・支援業務の現状について報告があり、各々の立場での助け合い・支え合いの重要性を再認識しました。

コロナ収束の予測がつき難い中ですが、「支え合い活動」「ご近所の底力」などの勉強会をしながら活動を進めていきます。

高島平おとしより相談センターからの報告

訪問は控えていましたが、来所された方のご相談には対応させていただきました。相談件数は、4月が例年の3分の1、5月は半分、6月は3分の2ほどでした。

当然、3密を避けて対応はしていましたが、マスクなしで来所される方もいました。このため6月までは、現場の職員たちは感染へのストレスがかなり高い状態で勤務していました。

この間、コロナ禍での特別な状況と思

われたことがいくつかあります。高齢者ご本人とご家族のストレスの問題です。

グループホームに90歳代の親御さんが入所している方からは、オンライン面会でお顔は見ることは出来ても、うまく話せないという相談がありました。半年近く会えないために、生活の様子がよく分からず心配をしているとのことでした。

別のご家族からは、入院が必要な状況

だが、入院してしまうと会えなくなる。このまま入院したら、一生会えないかもしれない。不安なので入院させたくないというお話もありました。

また、最近では精神状態が不安定になってきたためか、盗聴されているとか、コロナに罹っているのではないかなどの精神科的な相談が増えてきています。

コロナ禍による自粛ムードが長期化しているせいでしょうか、ストレスへの対処が必要です。（所長・田畑文子）

「スマホ・ケータイ安全教室」を開催

2019年12月17日に高島平地域センターで「シニア向けスマホ・ケータイ安全教室」を開催しました。携帯電話の販売、アフター、設備保守などのサービスを提供する会社、NTTドコモのインストラクターの方から、災害時の安否確認・緊急速報サービス、特殊詐欺の事例紹介・予防策、通信料金を節約するための知識について教えていただきました。約50人が参加し、とても勉強になったと話していました。

この勉強会に引き続き、「防災セミナー」を実施する計画でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の懸念から、当面見合わせとし、今後、勉強会の再開を検討していきます。



高島平まつりに参加

旧高島七小グラウンドで2019年10月27日に開催された「第28回高島平まつり」に「支え合い会議高島平」も参加しました。板橋区社会福祉協議会と共に、広報誌を配りながら、私たちの活動について説明をしました。

高島平まつりは板橋区町会連合会高島平支部と板橋区青少年健全育成高島平地区委員会の共催。管内20町・自治会や高島平・はすのみ・新河岸の各児童館、青少年委員会育成のジュニアリーダー、高島平警察署、志村消防署、高島平と交流のある長野県木島平村などが参加し、約12000人が集いました。





これまでの活動は…

「高島平シニアガイド」の改訂版を3月に発行

—昨年3月に発行した「高島平シニアガイド」を改訂し、「2020年版」を2020年3月に発行しました。高島平と新河岸、三園地域の趣味サークルやサロン、老人クラブ、助け合いの会など、主に高齢者向けのさまざまな集いの場を網羅した地域ガイドブックです。

第1号では67カ所を掲載しましたが、この改訂版では15カ所増えて82カ所となりました。高島平5丁目地区が新しく加わり、高島平2、3丁目ですそれぞれ4カ所増えたことなどによるものです。これにより、全ページ数も24頁から28頁になりました。

前回と同様に、支え合い会議のメンバーが手分けして活動内容や費用を調べ、制作は高島平新聞社に依頼しました。印刷したのは1万部です。

第1号は地域の全世帯の皆さんに戸別に配布しましたが、今回は掲載したサロンなどのほかに、板橋区役所や板橋区社会福祉協議会、おとしより相談センターなどを通じて関係者にお届けしました。ご入用な方は、支え合い会議高島平までご連絡ください。



村奈嘉さんが「高島平のむかし・いま」を講演

高島平新聞の創業者、村奈嘉義雄さんをお迎えして1月18日に「高島平のむかし・いま」というテーマで講演会を開きました。

高島平団地を中心に発展した50年の歴史とこれからの課題についてスライドを示しながら話されました。高島平地域センター3階大ホールに集まった参加者約120人が、映像の一つ一つを懐かしそうに見ている姿が印象的でした。「高島平の歴史がよくわかった」、「今度は、新河岸など他の地域のお話も聞きたい」という声も頂きました。



バス路線増設の要望に「沿えない」の回答

高島平4丁目、5丁目の住民の方々に2019年2月、「地域の困りごと」についてアンケート調査した結果、通院・買い物時の交通手段であることが分かりました。そこで、「支え合い会議高島平」では、定期バス路線の増設要望を決めるとともに、署名活動を始めることになりました。

各町、自治会に署名回覧を依頼するとともに、6月20日には高島平駅前の団地広場で街頭署名活動を行いました。積極的な活動の結果、1680筆もの署名が集まりました。

その署名簿を携えて10人の支え合い会議高島平の構成員が8月20日に、国際興業バス志村営業所へ赴き、要望書を手渡しました。

その後、10月7日に、同営業所から「本部での検討の結果、要望に沿えません」との回答が届きました。

ただ、「区長と区民の懇談会」の場でも、コミュニティバスりんりん号の路線変更など地元からの要望は強いのが実情です。コロナ禍の下で、外出は控え気味ですが、通院や買い物などの交通手段の確保は地域の課題です。コロナ後も見据えて、出来ることを探していけたらと考えています。

「支え合い会議高島平」の構成員は14人です

介護事業所	社会福祉法人 愛宕福祉会	坂井洋介	町会・自治会	高島平八丁目町会	深町聡子★
住まい	都市再生機構 (UR)	三好 朗	町会・自治会	高島平二丁目団地自治会	今津紘一★
NPO・企業	コミュニティスペース連絡会	浅川澄一	民生・児童委員	民生・児童委員	山田けい子★
NPO・企業	地域リビングプラスワン	酒井広美	一般	一般	角竹美好子
サロン	すずらん会の会	雁行一子	地域包括支援センター	高島平おとしより相談センター	田畑文子
サロン	カルガモ会	弦間千子	行政	板橋区おとしより保健福祉センター	内田岳史
町会・自治会	高島平三丁目町会	吉田 博	社会福祉協議会	板橋区社会福祉協議会	小林霧華

★印は、生活支援コーディネーター

●この「ニュース」についてのお問い合わせは、深町聡子 080-9155-1132、山田けい子 080-4192-1413 へお願いいたします。

●編集責任者 浅川澄一